

# ～ひだまり～

3年2組 学級目標

金声玉振

～その手で未来を切り拓け～

第3学年だより

第 32 号

## 作文特集号「修学旅行記」～2組～

修学旅行にまつわる作文特集号も、いよいよ最後のクラスとなりました。最終号は2組の作文を紹介します。今回も、素晴らしい2作品を掲載します。是非お読みください。

### 「修学旅行で学んだこと」

私が、この修学旅行で学んだことは2つあります。それは、コミュニケーションの大切さと、失敗から学ぶことの重要性です。

修学旅行地の京都、奈良にはたくさんの修学旅行生や、海外からの観光客が多く見られました。私は、海外の方と話をした際に、使用する言語が違うため上手にコミュニケーションをとることができませんでした。しかし、身振り手振りを使い、必死にコミュニケーションをとろうとしました。その経験から、言語の壁を越えて話すことの難しさを学ぶことができたとともに、相手の気持ちを考えながら、自分の気持ちを伝えることの大切さを実感することができました。

また、今回の修学旅行では良い点ばかりではなく反省点もありました。私の班は1日目に奈良公園で班員同士がはぐれてしまい、集合時間に遅れてしまいました。私はその失敗を振り返り、何が良くなかったのか、どこを改善すれば良かったのかを考えました。そこから次の日に向けて、時間を守ることと、しっかり周りを見て班員と同じ行動をすることを意識しました。そのおかげで2、3日目は計画通りにコースを回ることができました。私はこの経験から、失敗は学びを得るチャンスだということを学びました。失敗をそのままにするのではなく、振り返り改善しようとすることでいい方向に進んでいくことを学ぶことができました。

修学旅行で得られたこれらの学びを今後に生かしていきたいです。

### 【担任の先生から】

学びの集大成ということで臨んだ修学旅行。歴史ある日本の遺産を実際にみて、ふれることで得られた感動は大きかったことでしょう。皆さんの表情や感想文から、充実した3日間を送ることができたことがよく伝わり嬉しく思います。また、修学旅行を通して日本文化の学びだけでなく、一人ひとり違う視点の学びがあることもまた修学旅行の大きな魅力だと思います。この旅で得た学び、友との思い出を大切にしながらこれから日々を過ごしていきましょう。

裏面にも、もう一作品を掲載しています。修学旅行作文特集号の最後の一本になります。是非、お読みください。

## 「視点が変われば世界が変わる」

私は今回初めて実行委員ではない立場で修学旅行に参加した。一昨年は鎌倉で実行委員長、去年は都内巡りで。自分的にはすごく頑張ったと思っていた。全体のリーダーとして責任をもって行動できたと思っていた。しかしそれは浅すぎる考え方、薄っぺらい責任感だったのかもしれない。

今回、リーダーではない立場からリーダーたちの姿を客観的に見て、自分だったらどのような声掛けや行動をするかいろいろと考えをめぐらせた。実際にこうしたほうがいいのではないかと思うこともあった。しかしながら、周りから口出しをするのは簡単だけれど実際にリーダーとして周りの大勢の人を動かすのはとても難しい。リーダーとは本当にバランスが求められるものだと思う。大きな責任を背負っているから身勝手な行動はできない。そして全体や班員にもそのような行動はさせられない。けれどもいろいろな人がいるから統率をとることも難しい。そういう複雑な立場だと思う。

私は1年間生徒会をやってきて様々な行事を運営してきた。つまり裏でたくさん支えてきた。けれどもそうして私たちが裏で企画や人を支えられるのは、私たちを支えてくださる方々がいるからだ。だから謙虚であること、感謝の気持ちを持ち続けることを大切にしたい。

私は高校生になっても生徒会に挑戦したい。修学旅行で見えた、今までとは全く違う視点。立場が違えば同じもの、似たものを見ても180度違って見える。それを痛感した、新たな気づきを得られた修学旅行だったと思う。この気づきをこれからの挑戦に活かしていきたい。

### 保護者の皆様へ

先週の「進路説明会」への参加、ありがとうございました。学芸発表会の準備とともに進路決定に向けて着々と準備が進んでいます。提出していただく重要な書類等も増えますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。また、10月末から、入試が行われる学校等もあります。早め早めの準備をお願いいたします。特に、私立高校等の説明会、見学会等には必ず参加し、個別相談をしてきてください。よろしくお願ひいたします。

今 後 の 予 定	日	予 定
	20(月)	生徒朝礼 ①みんなへのメッセージ
	21(火)	①面接ガイド 配布 加飾作品の確認 ⑤⑥交通安全教室
	22(水)	⑤カット (放:学芸発表会リハーサル1)
	23(木)	⑥カット (放:学芸発表会リハーサル2)
	24(金)	⑤⑥カット、前日準備(係生徒)
	25(土)	学芸発表会 (クラス写真撮影あり)



↑修学旅行事後学習発表会の様子

# 修学旅行 ふかふか探究 Project 事後学習年発表会 を終えて

修学旅行の事後学習の発表会が、木曜日に行われました。各クラスの代表だけあって、どの発表も内容が濃く、3年生の集大成としてふさわしいものばかりでした。

改めて振り返ると、1年生では平和学習の個人発表、2年生ではみなかみの探究学習の発表、そして今回の修学旅行と、3回の大きな発表をしてきました。発表原稿の内容や発声、パワーポイントの効果的な使い方、発表時のパフォーマンス等、学年が上がるごとにどんどん上手になりました。今回の発表は楽しく、ためになる発表ばかりで、あっという間に2時間が過ぎてしまいました。

みんな悩みながら、学年の代表2グループを決めるために投票をしました。結果、【2組1班】と【4組5班】が選ばれました。その他の発表も大変良かったため、学年実行委員の人たちに全ての内容をまとめた、総合的なスライドを作ってもらうことにしました。各代表の発表を踏まえ、さらにより良いものを作り上げて、中学校生活最後の「学芸発表会」に臨みたいと思います。

## ～生徒の感想から～

- ・どの班のテーマも興味深くて面白かった。自分たちで調べたことや学んできたことを深堀りして、ちゃんと探究学習につなげられていてすごかった。小さなことから、大きなことまで、修学旅行で学んだことは本当にたくさんあるんだと改めて実感した。スライドや話し方の工夫がたくさんあって、わかりやすく、楽しく発表を聞くことができた。学芸発表会でどの班が発表してもみんな楽しく聞けると思った。
- ・他のクラスの発表を聞いて、面白いテーマ、面白い発表が聞けてすごく良い時間だった。「歴史について」や、「京都・奈良のやっている取り組み」だったりと、同じことを調べていてもその班によって少しずつ違っていて、毎回のように新しい知識が次々と付くので聞いていて飽きなかった。
- ・どの発表もスライドや話すことが工夫されていてよかったです。京都・奈良と東京の違いや共通点を知れて、考えが深まった。観光客が多くて住民が不便していると聞いて、観光客と住民と、どちらを優先すべきなのか、どうしたら心地よく観光し、生活がたりするのかなど考えれば考えるほど難しくなって面白かったです。文化・食文化・建物など知っていたことがあれば、知らなかったものもあって、今日の発表を聞くことができて良かったです。奈良・京都に限らず、日本の伝統文化をこれからも大事にして、未来へつなげていく必要があると思いました。そのためにも、自分にできることを少しでもやっていこうと思いました。
- ・クラスで行うよりも広い視点や分野を聞いて、「なるほど」「そういう視点もあるか」と楽しめた。知っていることもあったが、それを探究しようとは思わなかったので新しいことを知ることができて良かった。
- ・自分たちの班では気づけなかった京都の魅力や視点を知ることができ、とても勉強になりました。他のグループの発表を通じて、京都という街が、いかに多様な魅力を持っているかを再確認しました。また、実際に現地で撮った写真やインタビューなどを使っていて、視覚的にもわかりやすく、工夫されていて感心しました。これからも歴史や文化に興味をもって、自分でも、もっと深く調べてみたいと思いました。
- ・京都の歴史や魅力について、多くのことを知ることができた。自分の住んでいるところと比べてみての改善点もあったので、この先につなげていきたいです。
- ・それぞれが独特のテーマであったりしてまとめるのも難しそうなものが多かったけれど、しっかりわかりやすいものになっていてよかったです。シンプルなテーマでもまとめ方を工夫していた。また、発表方法やスライドのまとめ方も、聴衆のためにわかりやすくしていたり、声のボリュームや声の出し方などのこだわりを感じて、3年間のすべてがここに出来ていると思える良い発表でした。
- ・先生も言っていたように、選べないくらいどの班も発表が上手だった。自分も真似したいな、と思える工夫がたくさんあったし、逆にこうしたらもっといいのにと思うところも見つけられた。自分と全く違う着眼点で、話を聞くのがすごくおもしろかったし、今回選ばれなかった班の発表も聞きたかった。
- ・奈良・京都の景観の守られ方やそれぞれの文化・伝統をこの発表会で知ることができた。今もあの景観でいられるのは、昔の人が文化財などをずっと大切にしてきたからだとわかると、私たちもその文化を知っておくべきだな、と思いました。自分の地域だけでなく、いろいろな世界の文化を知り、どの国も大切にしていきたいです。